

第七十六回
帝國議會
貴族院

國民貯蓄組合法案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十六年二月二十五日(火曜日)午前十時十四分開會

委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ委員會

ヲ開會致シマス、本日ハ日本勸業銀行法中改正法律案、農行銀行法中改正法律案及北海道殖産銀行法中改正法律案ニ付テ御質疑ヲ願ヒタイト存ジマス

○子爵梅園篤彦君 日本勸業銀行ノヤウナ大資本ノ有力銀行ガ、十人以上連帶貸付ノ制度ヲ、一躍其ノ半數ノ五人以上ヲ以テ足

ルト致シマシタ結果、産組ノ信用組合等ニ對シマシテ、何カ影響ヲ及スト云フヤウナコトハアリマスマイカ、十人ガ五人ニナツタ

ノダカラ、是ハ大資本ノ信用ノアル勸業ノ方ヘ行カウト言ツタヤウナ結果ヲ招來スル虞ガアリハシマイカト云フヤウナコトヲ心

配致ス譯デアリマス、就キマシテハ若シサウ云フコトガアルトスレバ産組ノ關係ガ面白クナイト云フコトニ相成リマスノデ、

斯ウ言ツタ今度ノ改正ガ産組ノ信用組合等トノ間ニ、サウ言ツタ影響ガアリハシマイカ、其ノ影響ノ有無ト言ツタヤウナコトニ付キマシテ、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマ

ス
○政府委員(相國岩夫君) 元來此ノ十人連帶ノ貸出ト制度ト云フモノハ、其ノ創設ノ趣旨ヲ考ヘテ見マスト云フト、不動産銀行ニ與ヘラレテ居ル本來ノ機能ヲ謂ハバ側面カラ促進致シマス爲ニ、中小産者ガ共同ノ目的ヲ以テ借入ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、強ヒテ抵當ヲ徵スルコトヲ致シマセズデ、

無擔保デモ資金ノ融通ヲ爲シ得ルト云フコトニ致シテアルモノト存ゼラレマス、ソレデ其ノ本來ノ趣旨ニ於キマシテ、普通銀行トカ、或ハ信用組合等ノ金融ト違フテ居ル所ガアルト存ゼラレルノデアリマス、此ノ連帶貸付ガ最モ多ク利用セラレテ居リマスノハ肥料資金ノ貸付等ノ場合デアリマシテ、サウ云フ實際ノ利用ノ状況カラ考ヘテ見マシテモ、勸業銀行等ノ連帶貸付ノ利用セラレマス範圍ハ、自ラ他ノ金融機關ノ活動分野ト違フテ居ルノデアリマシテ、此ノ際十人連帶ヲ五人連帶ニ改メマシテモ他ノ金融機關ヲ壓迫スルヤウナ結果ニナルコトハ萬ナイモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマス、大體肥料資金ノ貸付デアルカラ、産組ノ方面ハ影響ハナイト思フト云フヤウナコトデアリマスルカラ安心ハ致シマシタガ、併シ近年産組ノ方デハ水産業ニ對シマシテモ手ヲ伸バシテ居ルヤウデアリマスルガ、サウ致シマスル水産金融ニ付テハ影響ガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、無イノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(相國岩夫君) 水産金融ノ問題ニ關シマシテハ、水産金融ハ實ハ從來ナカナカ圓滑ニ行ハレマセズデ、之ヲ圓滑ナラシメマスル爲ニ當局ト致シマシテモ各方面カラ色々施設ヲ講ジテ參ツノデアリマス、不動産銀行ノ水産金融ヲ便ナラシムル方法ヲ講ジマスルト共ニ、産業組合中央金庫ヲ活用致シマシテ、其ノ系統カラモ水産

資金ガ成ルベク便宜豐富ニ出テ來ル方策ヲ講ジテ參ツノデアリマシテ、水産金融ノ方面ニ於キマシテハ寧ロ多ク辨ズト云フ狀態デハナイカト存ゼラレマスルノテ、水産業者ニ對スル連帶貸付ノ制度ヲ此ノ際緩和致シマシテモ、之ニ依ッテ産業組合方面ノ事業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハナク、寧ロ中小ノ水産業者ノ爲ニハ非常ニ便宜ヲ與ヘルコトニナリハセヌカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、産組ノ金融機關ニ對スル惡影響ハ少シモナク、寧ロ便宜ヲ與ヘルト云フヤウニ同ヒマシタノデ安心ヲ致シマスガ、併シ私ハ多少其ノ點ニ不安ガアリマスルノデ、此ノ上トモ産組ノ金融機關トノ關係ニ付テ十分ノ御心ヲ煩ハシテ置キタイト思ヒマス、尙從來十人連帶貸付ト云フモノハ相當ニ行ハレテ居ツタモノデアラウカト思ヒマスガ、此ノ成績ガ御分ニナツデ居リマシタナラバ、此ノ期間ナリ、又金額ナリヲ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、又五人連帶貸付ト致シマシタ結果、増加致スコトト思ヒマスガ、其ノ増加ノ御見込ハドノ程度デアリマスガ、ドノ位デアリマスカ御伺致シマス

○政府委員(相國岩夫君) 十人連帶貸付ノ數字ヲ申上ゲマス、勸業銀行ニ於キマシテハ、昭和十五年ノ上期末ニ於キマシテ、口數ニ致シマシテ一萬三千七百九十一口、金額ニ致シマシテ千九百八十四萬圓、農工銀行ニ於キマシテハ、同ジク昭和十五年度上期末

ニ於キマシテ四千九百四十口、金額ニ致シマシテ五百三十九萬六千圓、北海道殖産銀行ニ於キマシテハ六百六十八口、四百三十八萬四千圓ニナツテ居リマス、之ニ依ッテ御分ノヤウニ、金額ニ致シマシテモ相當ノ金額ヲ貸付ケテ居リマスガ、口數ガ非常ニ多イノデゴザイマシテ、中小ノ産業者ニ相當ニ便宜ヲ與ヘテ居ルコトガ窺ハレルト存ズルノデアリマス、今後之ヲ五人以上連帶ニ改メマスコトニ依リマシテ、ドレダケ此ノ貸付ガ伸ビマスカ、正確ナ計算ハ見込ハ實ハ立ツテ居ルモノガナイノデアリマスガ、併シ之ヲ擴張スルコトニ依リマシテ、可ナリ中小産業者ニ便宜ヲ與ヘ、此ノ連帶貸付ガ伸ビル餘地ガアルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、幾ラ位殖産見込デアルカト云フコトニ付テ、ハッキリ申上ゲ兼ネマスノハ甚ダ遺憾ニ存ジマス

○子爵梅園篤彦君 今回ノ改正デ此ノ貸付擔保トシテ漁船ヲモ認メルコトトナツタ譯デアリマシテ、是ハ水産業貸付ニ對スル一進歩トシテ誠ニ結構デアルト考ヘマス、然ラバ此ノ漁船ノ程度ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、水産業ノ發達ヲ助長スルト云フ點カラ致シマシテ、從來ノ漁業權ニ更ニ漁船ヲモ加ヘテ貸付ノ擔保トシテ認メラレタモノデアルト考ヘマス、然ラバ精々其ノ所謂漁船ノ範圍ヲ廣クシテ、水産金融ヲ擴充セシムルコトト致スベキモノデアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御所見

ニ於キマシテ四千九百四十口、金額ニ致シマシテ五百三十九萬六千圓、北海道殖産銀行ニ於キマシテハ六百六十八口、四百三十八萬四千圓ニナツテ居リマス、之ニ依ッテ御分ノヤウニ、金額ニ致シマシテモ相當ノ金額ヲ貸付ケテ居リマスガ、口數ガ非常ニ多イノデゴザイマシテ、中小ノ産業者ニ相當ニ便宜ヲ與ヘテ居ルコトガ窺ハレルト存ズルノデアリマス、今後之ヲ五人以上連帶ニ改メマスコトニ依リマシテ、ドレダケ此ノ貸付ガ伸ビマスカ、正確ナ計算ハ見込ハ實ハ立ツテ居ルモノガナイノデアリマスガ、併シ之ヲ擴張スルコトニ依リマシテ、可ナリ中小産業者ニ便宜ヲ與ヘ、此ノ連帶貸付ガ伸ビル餘地ガアルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、幾ラ位殖産見込デアルカト云フコトニ付テ、ハッキリ申上ゲ兼ネマスノハ甚ダ遺憾ニ存ジマス

○子爵梅園篤彦君 今回ノ改正デ此ノ貸付擔保トシテ漁船ヲモ認メルコトトナツタ譯デアリマシテ、是ハ水産業貸付ニ對スル一進歩トシテ誠ニ結構デアルト考ヘマス、然ラバ此ノ漁船ノ程度ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、水産業ノ發達ヲ助長スルト云フ點カラ致シマシテ、從來ノ漁業權ニ更ニ漁船ヲモ加ヘテ貸付ノ擔保トシテ認メラレタモノデアルト考ヘマス、然ラバ精々其ノ所謂漁船ノ範圍ヲ廣クシテ、水産金融ヲ擴充セシムルコトト致スベキモノデアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御所見

ニ於キマシテ四千九百四十口、金額ニ致シマシテ五百三十九萬六千圓、北海道殖産銀行ニ於キマシテハ六百六十八口、四百三十八萬四千圓ニナツテ居リマス、之ニ依ッテ御分ノヤウニ、金額ニ致シマシテモ相當ノ金額ヲ貸付ケテ居リマスガ、口數ガ非常ニ多イノデゴザイマシテ、中小ノ産業者ニ相當ニ便宜ヲ與ヘテ居ルコトガ窺ハレルト存ズルノデアリマス、今後之ヲ五人以上連帶ニ改メマスコトニ依リマシテ、ドレダケ此ノ貸付ガ伸ビマスカ、正確ナ計算ハ見込ハ實ハ立ツテ居ルモノガナイノデアリマスガ、併シ之ヲ擴張スルコトニ依リマシテ、可ナリ中小産業者ニ便宜ヲ與ヘ、此ノ連帶貸付ガ伸ビル餘地ガアルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、幾ラ位殖産見込デアルカト云フコトニ付テ、ハッキリ申上ゲ兼ネマスノハ甚ダ遺憾ニ存ジマス

○子爵梅園篤彦君 今回ノ改正デ此ノ貸付擔保トシテ漁船ヲモ認メルコトトナツタ譯デアリマシテ、是ハ水産業貸付ニ對スル一進歩トシテ誠ニ結構デアルト考ヘマス、然ラバ此ノ漁船ノ程度ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、水産業ノ發達ヲ助長スルト云フ點カラ致シマシテ、從來ノ漁業權ニ更ニ漁船ヲモ加ヘテ貸付ノ擔保トシテ認メラレタモノデアルト考ヘマス、然ラバ精々其ノ所謂漁船ノ範圍ヲ廣クシテ、水産金融ヲ擴充セシムルコトト致スベキモノデアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御所見

フ件セテ伺ヒタイと思ヒマス、尙其ノ漁船ノ保險ノ特別會計ガ設定セラレタト云フコトデアリマスガ、實ハ私不敏デアリマシテ、其ノ内容ヲ存ジマセヌノデ此ノ機會ニ併セテ御説明ヲ煩ハシタイと思ヒマス

○政府委員(相田岩夫君) 一應私カラ御答

ヘ致シマシテ、尙詳シイコトヲ他ノ政府委員カラ必要ニ應ジマシテ御答ヘ申上ゲルコトニ致シタイと思ヒマス、漁船ヲ新タニ擔保ニ取り得ルコトニ致シマシタノデアリマスガ、從來漁船ハ漁業財團ニ組入レシムル場合ノ外ハ、擔保トシテ貸付ヲスルコトガ出來ナイ實情ニアツタノデアリマス、漁船ニ付キマシテモ、漁船保險組合ニ依ル相互保險ノ制度ガ實施セラシ、ヤウニナリマシテ、之ヲ擔保トシテ貸付ヲシテモ債權保全上危險ガナイト認メラレル場合ニハ、之ヲ抵當ニシテ貸付ケルコトガ水産金融ノ疏通ヲ圖リマス上ニ於テ最モ適當ト認メテ此ノ改正ヲ致シタ次第デアリマス、唯抵當權登記ノ關係上、實際問題ト致シマシテハ、總噸數二十噸以上、積石數二百石以上ノ漁船ニ限定サレルコトニナラウト存ゼラレマス、是ハ抵當權ヲ第三者ニ對抗シ得ルモノト致シマス爲ニハ、登記ノ必要ガアルノデアリマスルガ、船舶ノ登記ハ總噸數二十噸以上又ハ積石數二百石以上ノモノニ限ラレテ居リマスル關係デ抵當ト爲シ得ルモノモ是ト同様ノ範圍ニ限定セザルヲ得ナイノデゴザイマス、唯將來ハ例ヘバ船舶登記ノ範圍ヲ擴張スルトカ、其ノ他何等カノ方法ヲ講ジマシテ、右以外ノ漁船ヲモ抵當ニシ得ルヤウニ致シマシテ、水産金融ノ必要ニ、更ニ十分ニ應ジ得ルヤウニ致シマシテ付テ研究シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、漁船保險制度ノ内容

ニ付キマシテハ、農林當局ノ擔當者カラ說明申上ゲルノガ一番適當カト存ゼラレマスノデ、今其ノ方ニ連絡致シマシタカラ、チヨット御待テ願フタガ宜シカラウト思ヒマ

○子爵梅園篤彦君 ソレハ農林當局カラ伺

フコトニシタイと思ヒマス、結構デゴザイマス、尙御伺ヒシタイノデアリマスガ、從來漁業權ヲ擔保ト致シマシタ場合ニ、必ズ副擔保ヲ取ラレルト云フコトガ殆ド常例ニナツテ居ルト云フコトデゴザイマスルガ、ソレデハ何ノ爲ニ漁業權ノ擔保力ヲ認メタカト云フコトガ分ラナクナル譯デアリマス、無意味トナル譯デアリマス、ソレデハ今回ノ漁船擔保ニハ副擔保ガ必要ダト云フヤウナコトニ相成リマシテハ、折角ノ改正ガ無意味トナル次第デアリマス、斯クノ如キ副擔保ヲ取レナイコトニ出來ナイモノデアリマセウカ、何カ之ニ對スル對策ト言ヒマスカ、御考ハナイモノデゴザイマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 御質疑ノ點誠ニ

御尤モデアリマス、性質上比較的危險性ノ多イ場合ニ於キマシテハ、單一ノ擔保デナク、更ニ何カソレニ添ヘテ他ノ擔保ヲ取ルト云フヤウナコトヲ考ヘマスノモ、是レ實情ガ已ムヲ得ナイ場合ガ相當アルカト存ゼラレルノデアリマス、從ツテ漁業權ノ場合ニ付キマシテハ、法律ノ上ニ於キマシテモ、之ヲ抵當トシテ貸付ヲ爲ス場合ニハ有價證券又ハ不動産ヲ副擔保ニスルコトガ出來ルト致シテアル譯デアリマシテ、成ルベク御趣旨ニ副フヤウニ致サセタイトハ存ジマシマス、事柄ノ性質上、單純ニ漁業權ダケト云フコトガ出來兼ネル場合ガ實際問題トシテハアルト云フコトニナラザルヲ得ナイデヤ

ナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、漁船ニ付キマシテハ、漁船ダケヲ今後擔保ニ取ルコトガ出來マスルシ、又漁船ノ漁業權ノ副擔保ニスルコトガ出來ルト云フコトニ致シマシテ、從來ヨリハ大イニ其ノ貸出ノ擔保ニスルモノノ範圍ヲ擴張致シマシテ、水産者ノ便ヲ圖ルコトニ致シタノデアリマス、チヨット只今私ノ申上ゲマシタコトガ間違ッテ居リマシタカラ訂正致シマス、漁業權ヲ抵當トシテ貸付ヲスル場合ニ有價證券又ハ不動産ヲ副擔保ニスルコト云フノガ現在ノ規定デアリマスガ、今私ハ其ノ場合ニ漁業權ヲ抵當トシテ貸付ヲスル場合ニ漁船ヲ副擔保ニスルコト申上ゲマシタガ、チヨットソレハ間違ヒデアリマシテ、漁船ヲ抵當トシテ貸付ヲスル場合ニ有價證券又ハ不動産ヲ副擔保ニスルコト云フコトニ致シマシタノデ、漁船ヲ抵當トシテ貸付ヲスル場合ニ於キマシテモ、實際上必要アリマス時ニハ有價證券トカ、不動産トカラ副擔保ニ取ルト云フ建前ニシテアル譯デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ先程申上

ゲマシタヤウナ趣旨ニ依ツテサウ致シタノデアリマスガ、只今ノ御質問ノ趣旨ヲ體シマシテ、成ルベク便宜ニ、勿論債權ガ非常ニ不確實ニナルヤウナコトハ出來マセヌガ、ソレト調和ヲ保チナガラ成ルベク債務者ノ便宜ヲ考ヘマシテ、貸出ノ適正ヲ圖ラセリヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明デハ漁船

ニ對シテモ矢張り擔保ガ要ルト云フコトニナツテ居ルヤウデゴザイマシテ、其ノ點誠ニ遺憾ト思ヒマス、漁船ハ固ヨリ物の擔保ナシデアリマスカラ、之ニ副擔保ヲ要セナイヤウナ方法ハ講ゼラレルヤウニ思フノデア

リマスガ、只今ノ政府委員ノ御答辯デハナカナ困難ヤウニ伺ヒマス、一應了承致シマスガ、私共ノ希望致シマスヤウニ、漁船ニ付テハ副擔保ヲ要セナイト云フヤウナ何等カノ方法ヲ將來御執リ下サルヤウニ希望致シテ置キマス、次ニ從來勸銀ニ於キマシテハ、物の擔保ヲ偏重シ人的信用ヲ輕視スルト云フヤウナ傾向ガ相當強イヤウデアリマス、然ルニ此ノ改正ニ依リマシテ、一面漁船ノ擔保ヲ認ムルト共ニ、他面十人連帶貸ヲ五人連帶貸ト改メラレマシテ、人的信用ヲ尊重セラシ、ト云フコトニ相成ッ

タノデアリマスルカラ、從來ノ物の擔保偏重、人的信用輕視ガ矢張り依然強イト云フコトデゴザイマスルコト、折角ノ此ノ改正モ效果ガ少イト思フノデアリマス、仍テ之ハ本改正ヲ活カス爲ニモ、從來ノ勸銀ノ運用ノ偏重思想ヲ除去スル必要ガアルト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 先程カラ段々御

質問ゴザイマシタ、殊ニ勸業銀行ノ從來ノ營業方面等カラ致シマシテ、將來ニ於テ勸業銀行ガ貸付ノ方針ニ關スル御質問デアリマスルガ、今回ノ勸業銀行法ノ改正全體ヲ通ジマシテ、其ノ精神ト致シマスル所ハ、要スルニ從來勸業銀行ハ不動産銀行トシテ物的擔保ヲ主トスル建前ノ銀行デアリマシタノデ、自然從來ノ營業方針ガ物ニ偏重、偏傾スルト云フ嫌ガアツタノハ事實デアリマス、是ニ對シマシテ今回ノ改正ハ其ノ餘リニ物ニ偏リ過ギタ傾向ヲ矯メルト云フ目的カラ出タ次第デアリマシテ、先程カラ御話ノアリマシタ十人連帶ヲ五人連帶ト致シマス

漁業權、漁船、或ハ山林抵當等ニ付キマシ、テモ色々範圍ヲ擴ゲタノデアリマス、ソレデ法制ノ上ニ於キマシテ、サウ云ツタ風ニ色色擔保ノ範圍ヲ擴ゲ、人的擔保ノ途ヲモ開クト云フコトニ致シタノデアリマスルガ、要スルニ運用ノ問題デアリマス、從來勸業銀行ノ營業方針ニ付テ世間往々批評ヲ加ヘラレマスルノハ、餘リニ堅固ギルト云フコトデアッタノデアリマス、デ此ノ事ニ付キマシテハ最近勸業銀行ノ當局ガ非常ニ反省ヲ致シマシテ、例ヘバ一番勸銀ノ貸付ニ付キマシテ問題ニナリマシタノハ、不動産ノ價格ノ、其ノ鑑定價格ガ非常ニ辛ク見マシテ、而モ其ノ鑑定價格ノ何割ニ相當スルモノシカ貸サナイ、從ヒマシテ其ノ實際ノ貸付金額ト云フモノハ、本當ノ擔保物ノ値打ノ半分ニ足ラナイト云フ結果ニナルト云フコトヲヨク世間ニ言ハレテ居ッタノデアリマス、最近勸業銀行ニ於キマシテハ、此ノ點非常ニ反省致シマシテ、一昨年から從來此ノ勸業銀行ノ内部ニ於キマシテハ、鑑定部ノ部員ト云フモノガ一個ノ獨立的ノ存在デアッタノデアリマス、ソレデ貸付方ハ一般ノ營業ノ方デアルノデアリマスガ、鑑定部ノ人ノ付ケタ鑑定價格ハ不可侵的ノ建前デヤツテ居ッタ結果、兎角實情ニ副ハスト申シマスカ、融通ノ利カナイ貸付ガ行ハレ勝デアッタノデアリマスガ、一昨年から大體鑑定部員ヲ營業ノ中ニ入レマシテ、鑑定部員ガ營業部ノ一員トシテ鑑定ニ當ル、斯ウ云フ建前ヲ採ルヤウニナッタノデアリマス、從ヒマシテ最近ニ於キマシテハ、新シイ貸付ニ付キマシテハ、大體鑑定價格ナルモノモ實情ニ副フヤウニナッタ次第デアリマス、先ヅ勸業銀行ノ一番大キナ問題デアリマスル所ノ鑑

定價格ノ問題ヲ、一昨年から解決シタト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ全體ニ最近ニ於キマスル勸業銀行ノ氣分ガ、尤モ從來ノ法律モ窮屈デアッタガ、自分ノヤリ方モ窮屈デアッタト云フコトヲ氣付キマシテ、自ラサウ云ツタ方面ヲ矯メ直サウト云フ氣持ニナツテ居ルノデゴザイマス、ソコデ先程カラ産業組合トノ關係ノ御話モゴザイマシタガ、是ハ考ヘ方デアリマスケレドモ、私共ハ産業組合ガ地方ニ於テ色々貸付ヲ致シマスガ、勸業銀行ガ一方ニ於テ五人連帶ト云ツタヤウナ簡易ナ貸付ヲ致ス、サウ云フ途ガ國內ニ殖ニルト云フコトハ結構ナコトデヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、一面カラ申シマスト、産業組合ハ現在預金ガ非常ニ集リマスケレドモ、貸出ハヤラナイ、我々ノ思フヤウニハヤラナイノデアリマス、ソレヲ信用組合聯合會ニ預ケル、信用組合聯合會ハ更ニ中央金庫ニ預ケル、サウシテ有價證券投資ヲヤルト云フ風デアリマシテ、産業組合ソレ自體ノ本來ノ目的ハ組合員カラ預ケマシタ預金ヲ成ベク組合員ニ貸付ケテ、サウシテ殆ド餘裕ガナイ、寧ロ政府ノ資金ナリ、他ノ資金ヲ借入レテデモ組合員ニ自分ノ預ツタ金ノ一倍、三倍ニシテ貸付ラスルト云フコトガ理想デアラウト思フノデアリマス、併シハ色々擔保ノ技術トカ、貸付ノ技術トカ、色々關係モアリマシテ、サウ簡單ニモ參ラナイト云フコトカラ致シマシテ、實情ハ寧ロ有價證券投資ノ方ガ多イカドウカ知リマセスガ、相當アルノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ際ニ於キマシテ、勸業銀行ガ更ニ簡易ナ貸付方法ヲ致スト云フコトガ望マシイコトデアアル、斯ウ云フ風ニ考

ヘル譯デアリマス、又只今漁業權、又ハ漁船ニ付テ副擔保ノ問題ノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ從來ハ副擔保ヲ取ツテ居ッタコトハ事實デアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ勸業銀行ノ當局ノ考ガ段々樂ナ貸付ヲシナケレバナラス、サウデナイト實情ニ副ハナイ、自分等ノ使命ヲ果サレナイノダト云フ氣持ニナツテ居ルノデアリマス、法律ノ條文モ擔保ヲ徵スルコトヲ得ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、從ッテ今ノヤウナ氣分デ此ノ法ヲ運用ヲ致シマスニ當リマシテハ、擔保ヲ取ラナケレバナラヌヤウナ相手方ノ狀態デアレバ、ソレハ取リマセウ、併シナガラ取ラスデモ宜イ場合ニ於テハ取ラスデヤツテ行カウト云フ氣持デ居ル譯デアリマス、サウ云フ次第デアリマスノデ、大體最近ノ勸業銀行ノ人ノ頭ノ置キ方、考ヘ方ト云フモノハ、只今梅園子爵ノ御心配ニナルヤウナ點ニ付キマシテハ、餘程好イ狀態ニナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ宜イカト思フノデアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ大藏次官ノ率直明瞭ナ御説明ニ依リマシテ、十分に承致シマシタ、寧ロ其ノ御答辯ニ満足ノ意ヲ表シマス、次ニ勸業銀行デハ貸付利率ノ低減ヲ先年來實行セラレタヤウニ聞イテ居リマス、現在其ノ貸付ノ金利ハ幾ラニナツテ居ルノデアリマセウカ、田畑宅地擔保ノ年賦償還、並ニ農業、水産、山林方面ヘノ手形割引、即チ短期貸付利率ノ其ノ兩者ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、又北海道拓殖銀行、農工銀行ニ付テハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、其ノ點モ併セテ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(相田岩夫君) 貸付利率ノ御尋デゴザイマスガ、御承知ノヤウニ本來ノ業務デアリマス長期貸付ニ付テハ、最高歩合ヲ認可致シテ居リマス、其ノ認可利率ヲ主ナルモノニ付テ申上ゲマスト、十六年ノ上期ノ認可利率ヲ申上ゲマスト云フト、勸業銀行ニ於キマシテハ、公共團體四分八厘、各種組合ガ五分三厘、デゴザイマス、只今問題ニナリマシタ農工漁業者十人以上連帶ガ五分六厘、田畑鹽田擔保ガ五分六厘、漁業財團擔保ガ六分二厘、漁業權擔保ガ六分、宅地建物ガ六分四厘、工場財團、鐵道軌道財團、ソレガ六分六厘ト相成ッテ居リマス、農工銀行ニ於キマシテモ是ト殆ド同一デアリマシテ、唯北海道拓殖銀行ニ付キマシテハ、從來北海道ト云フ所ガ内地ト變ッタ特殊ノ事情ガアリマシテ、他ト比較致シマシテ金利ガ幾分高クナツテ居ッタノデアリマスガ、之ヲ段々ニ漸寄致シマシテ、現在ニ於キマシテハ大體勸銀、農工並ニナツテ來テ居ルノデゴザイマス、ソレカラ短期貸付ハ御承知ノヤウニ是ハ餘裕金ノ運用デゴザイマシテ、非常ニ長期貸付ノ方トハ性質ヲ異ニスルモノデアリマスガ、此ノ方ハ要スルニ一般市場ノ金利ニ依ッテ左右セラレルモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、大體ノ處短期貸付ニ於キマシテハ十五年ノ下期ノ狀況ヲ見マスト云フト、日歩一錢カラ一錢二厘見當、手形割引ニ付キマシテハ一錢一厘カラ一錢三厘見當ニナツテ居ルト御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス、此ノ短期貸付トカ、手形割引トカ申シマスノハ、重ネテ申上ゲマスガ、餘裕金ノ運用デゴザイマシテ、別ニ利率ノ認可ト云フヤウナ制度モゴザイマセスシ、性質上裏ニ申上ゲマシタ長期ノ貸付トハ別個ノモノデアルト御諒承

ヲ願ヒタイノデゴザイマス、今申上ゲマシ
タ數字ハ十五年ノ下期ノ實績カラ申上ゲタ
數字デゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 梅園子爵ニ申
上ゲマスガ、農林省ノ水產局長ガ今見エテ
居リマスカラ先程ノ御説明ヲ願ッテラドウ
デスカ

○子爵梅園篤彦君 御願ヒ致シマス

○政府委員(平岡梓君) 漁船保險ノ大體ノ
御話デゴザイマスガ、漁船保險ハ昭和十二
年ニ法律ガ出來マシテ、今日ニ至ッタルデ
アリマシテ、餘リマダ年數ハ經ッテ居リマ
セスケレドモ、最近一箇年ノ平均ノ損害額
ガ毎年二百萬圓デ、其ノ内漁船ノ損害ガ百
三十五萬圓、漁具ノ損害ガ五十五萬圓、其
ノ他ノ損害ガ十萬圓ト云フヤウナ相當ノ數
字デゴザイマシテ、ソレカラ此ノ爲ニ、遭
難ノ爲ニ生命ヲ失ッタル漁業者ガ毎年六百人、
七百人モアルト、斯ウ云フヤウナ現狀デゴ
ザイマスノデ、此ノ損害ニ對スル救済ノ途
ガ今迄殆ドナカッタノデアリマシテ、例ヘバ
遭難致シマシテ、船ガ沈ンデシマッテモ、其
ノ代船ヲ造ル資力モナイト云フヤウナコト
デ、非常ニ困ッテ居ッタノデアリマスガ、漁
船保險ガ出來マシテカラ、サウ云フ點ガ非
常ニ經營上安定ヲ致シマシテ、從來金融上
利便ヲ殆ド受ケテ居リマセシタ所ノ、
漁船ト云フヤウナモノニモ物の信用ガ附ク
ト云フヤウナコトニナリマシテ、漁民ノ爲
ニハ非常ニ好イ施設ダト考ヘテ居リマス、
マダ組合ノ數モ餘リ澤山出來テ居リマセシ
ケレドモ、大體昨年十一月ノ末ノ成績ヲ見
マス、ソレデモ漁船ガ二萬三千隻餘ニ
加入シテ居リマシテ、ソレカラ保險金額モ
四千萬圓ニ上ッテ居リマシテ、段々好イ成績

ヲ擧ゲテ行ク積リデゴザイマス、尙ナカノ
漁民ニハ斯ウ云フコトガ、保險ト云フモノ
ハムツカシイモノデアリマスカラシテ、政
府ト致シマシテモ講習ヲヤツタリ、宣傳ラシ
タリ、活動寫眞ヲヤツタリ、色々サウ云フコ
トニ依ッテ漁船保險ト云フモノノ趣旨ノ徹
底ヲ圖ツテ居リマシテ、其ノ爲ニ指導員ニ
金ヲヤリマシテ、設立スル時ニ金ヲヤリマ
シテ、又設立後ニモ其ノ業務費ノ一部ヲ補
助シテヤリマス、一生懸命漁民ノ頭ニ入ル
ヤウニ努力シテ居リマス、此ノ爲ニ、話ハ
前後致シマスガ、政府ハ特別會計ヲ特ニ設
ケマシテ、此ノ漁船保險ヲ作りマシテ、其
ノ元受保險ノ之ニヤラセマシテ、政府ハ當
然之ニ再保險ヲシテヤルト云フヤウナ普通
ノ例ニ依ッテヤツテ居リマス、大體ノコトダ
ケ申上ゲテ、又御質問ヲ待チマシテ……

○子爵梅園篤彦君 最近農村方面ハ農產物
ノ騰貴等ノ關係カラ致シマシテ、貸付金ノ
償還ガ非常ニ順調ニ行ッテ居ルト云フコトデ
アリマスガ、其ノ貸付金ノ償還、竝ニ借入
金ノ減少ノ狀況ハドンナ風ニナッテ居リマセ
ウカ

○政府委員(相田若夫君) 申上ゲマス、勸
業銀行ニ付テ申上ゲマスト云フト、例ヘバ
年賦貸付ガ、十三年ノ下期末ニ於キマシテ
九億六千六百七十八萬圓デゴザイマシタガ、
ソレガ其ノ後漸次殘高ガ減少シテ參リマシ
テ、昭和十五年ノ下期末ニ於キマシテハ八
億九千四百餘萬圓トナッテ居リマス、サウ云
フ風ニ農村ノ實情ヲ反映致シマシテ、減少
ノ傾向ヲ辿ッテ來タノデアリマスガ、最近ニ
於キマシテハ、一方ニ於テハ都市方面ノ生
產力擴充關係ニ伴フ資金ノ貸出ノ需要ガ殖
エマシテ、勸業銀行ト致シマシテモ、農村

方面ノ餘力ヲ以チマシテ、其ノ方面ニ大イ
ニ力ヲ注イデ居リマス關係上、十五年ノ上
期末迄ハ貸出ノ全體トシテ段々ニ減少ノ傾
向ヲ辿ッテ來テ居タノガ、反對ニ十五年ノ
下期末ニ於キマシテハ、貸出金全體トシテ
ハ増加ノ數字ヲ示スヤウニナッテ參リマシ
マス、要スルニ農村方面ニ於テ資金ノ需要ガ
少クナッタ共ニ、市街地方面ニ於キマシテ
生産力擴充資金ノ貸付ノ方面ガ伸ビテ來テ
居ル、此ノ方面ニ於テ更ニ勸業銀行ノ活動
ヲ促スベキ餘地ガ多クナッテ居ルト云フ傾
向ガ窺ハレルト存ジマス、貸付金全體ニ付
テ申上ゲマスト云フト、昭和十五年ノ下期
末ノ貸付金ノ殘高ハ十二億四千九百餘萬圓
ニ相成ッテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 モウ一點伺ヒタイト思
ヒマス、農村ノ不動産擔保ノ金利ハ相當高
ク、之ニ反シテ都會ノ不動産擔保ノ金利ハ低
イト云フコトハ、固ヨリ其ノ貸付ノ性質ガ
一方ハ長期デアリ一方ガ短期デアル關係カ
ラ來ルモノデアリマシテ、已ムヲ得ナイノ
デアリマスガ、併シ何トカシテ農村ニ於テ
モ低利ノ金融ノ途ヲ開イデヤルト云フ必要
ハアルト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付
キマシテ將來政府ニ於テ御考慮ニ相成ル御
考デアリマセウカ、又之ガ緩和策トシテ何
カ御ヤリニナッテ居ルノデアリマセウカ、御
伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 農村ニ對スル金
利ノ問題デアリマスガ、勸業銀行、農工銀
行、北海道殖産銀行、各、長期ノ不動産金融
ヲ致シマスル銀行ハ、御承知ノ通り債券ヲ
發行致シマシテ、ソレヲ資金ト致シマシテ
貸付ヲ致スノデアリマス、貸付利率ハ結局
此ノ債券ノ資金原價ガドレダケ掛カルカト

云フコトカラ起ッテ來ル譯デアリマス、從ヒ
マシテ、今日勸業銀行ノ資金ノ「コスト」カラ
見マスルト、少クトモ四分カラ五分ノ間ニ、
取入ノ資金原價ガナッテ居ルノデアリマス、
ソレニ對シマシテ營業費ガ少クトモ一分カ
ラ二分ハ掛カルト見ナケレバナリマセヌ、
從ヒマシテ、之ヲ平均致シマスルト、先ヅ
五分カラ六分ノ程度ニ貸付ヲ致サナケレバ、
銀行トシテ亦ガ出ルト云フ關係ニ相成ル譯
デアリマス、デアリマスカラシテ、銀行ト
致シマシテハ、先程銀行局長カラ申上ゲマ
シタ今日ノ利率ト申シマスモノハ、寧ロ銀
行トシテハ非常ニ勉強ヲ致シタ利率デア
ルト申サナケレバナラスト思フノデアリマス、
ト申シマスノハ勸業銀行ハ御存ジノヤウニ
相當積立金ヲ持ッテ居リマス、其ノ積立金ノ
運用ト云フモノガアリマスルカラ、マダ此
ノ程度ノ利率デヤツテ行ケルノデアリマス、
若シ基礎ガ薄弱デアリ、積立金ノ少イ銀行
デアリマシタナラバ、到底今日ノヤウナ貸
付利率デハ貸付ガ出來ナイデアラウト云フ
コトモ考ヘラレルヤウナ次第デアリマス、
デアリマスルカラ、此ノ方面カラ考ヘマス
ルト、此ノ債券ノ發行利廻リト云フモノガ
低下シナイ限りハ、非常ニ急激ナ不動産銀
行ノ貸付利率ノ低下ト云フコトハ望ミ得ナ
イノデヤナイカト思フノデアリマス、殊ニ
勸業銀行等デ發行致シテ居リマスル債券ハ
長期デアリマスカラ、例ヘバ二十年三十年
ト云フ長期デ、出ス時ニ發行シテ居リマス、
從ッテソレヲ償還致シマシテ、新シク發行ス
ルト云フコトハナカノ困難デアリマスル
ノデ、斯ウ云ツタモノガ續ク限り致シ方ナイ
ト申シマスガ、殊ニ最近ノ實情ニ於キマシ
テハ、斯ウ云ツタヤウナ不動産銀行ノ債券ノ

借換發行ト云フコトモ政府ノ貯蓄債券、報國債券等ノ發行等ノ關係カラ致シマシテ、見合セテ居ルヤウナ狀態デアリマスカラ、相當困難デアラウト思フノデアリマス、ソコデ一方ニ於テ斯ウ云ツタヤウナ狀態デアリマスルガ、然ラバ現在ノ此ノ不動產銀行ノ貸付利率ハ都會地ノ貸付利率ト比較シテ非常ニ高イカト申シマス、必ズシモ私ハサウデヤナイノデヤナイカト思フノデアリマス、極ク一流ノ商業手形デアリマスルト、是ハ短期デモアリマスルガ、又非常ニ金利ガ安イト云フコトモアリマスルケレドモ、都會地ニ於テ矢張り不動產ナリ其ノ他ノ人的信用デ借りマスル場合ニハ、色々ノ關係カラ致シマシテ、結局ニ於テ相當ノ利廻ニナルノデアリマス、長期ニ固定シタ貸付ノ金利トシテ都會地ニ於ケル金利ノ權衡ガ取レヌ程ニ惡イカト申シマスルト、私ハソレ程デヤナイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ノミナラズ一方ニ於キマシテハ政府ト致シマシテハ、農村ニ對シマシテハ御承知ノヤウニ多額ノ預金部カラノ低利資金ヲ供給致シテ居リマス、此ノ低利資金ハ實情ニ依リマシテ、例ヘバ產業組合、工業組合、商業組合等ヲ通ジテ出シマシモノハ、先ヅ四分程度ニ此ノ組合ヘ流レマシテ、組合ノ方デ轉テ取ッテ貸付ヲ致シマスカラ、其ノ時ニハ相當ノ利率ニハナルト思ヒマスガ、少クトモ各組合ニ對シマシテハ四分以內ノ金利デ行ク譯デアリマス、併シソレ以外ニ個人々々ニ對シマシテ非常ニ低利デ行ク場合モアリマス、例ヘバ農村負債整理組合ト云フ如キハ、各個人ニ對シテ大體最終ノ貸付ハ四分二厘デ行クヤウニナッテ居リマス、サウ云ツタヤウナ譯デ、或ハ其ノ外

ニ於キマシテモ、今度ノ戰爭關係デ出征シマシタ遺家族ニ對スル負債整理資金ト云フヤウナモノハ、更ニ四分二厘ヨリモモット安ク、三分八厘デ個人ノ手ニ入ルヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、サウ云ツタヤウナ政府ノ低利資金ト云フモノヲ一方ニ於テ出シマシテ、勸業銀行、農工銀行ノヤウナ銀行カラ直接出シタノデハ金利ガ高過ギルト云フ部分ニ對シマシテハ、サウ云ツタ方面カラ別途ニ低利資金ヲ出シマシテ調和ヲ取ルト云フ方法ヲ講ジテ居ル譯デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、今後ニ於キマシテモ低利資金ノ融通ヲ更ニ擴張致シマシテ、實情ニ即シタヤウニ按配ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵西園乙君 私ノ觀測ガ誤ッテ居リマスカモ知レマセスケレドモ、近年ノ預金ノ激増ニ拘ラズ、銀行ノ產業界ニ對スル資金ノ手許ガ窮屈ナヤウナコトヲ感ズルノデアリマスケレドモ、此ノ際ニ長期ノ資金ヲ豐富ニ持ツコトノ出來ル勸業銀行ナドガ、從來ヨリモ更ニ自由ニ產業界ニ協力サレルヤウナ御改正ハ、大變仕合ナ、時宜ニ適シタコトト存ズルノデアリマス、殊ニ水産金融ニ從來ヨリモ更ニ出サレルコトハ、私達水産界ニ深イ關係ヲ持ッテ居ル者ノ立場カラ致シマシテモ、非常ニ仕合セナコトト思ッテ居ルノデアリマス、此ノ法律ノ改正ノ目的ヲ達シマス爲ニハ、此ノ法律ノ改正ダケデハ十分デハナイデヤナイカト思フノデアリマス、ソレハ內規トカ、定款トカ云フヤウナモノヲ同時ニ改正シテ戴ク必要ガアルト思ッテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ點ニ付テ先程次官カラ御話ノ、勸銀ノ內部ニ於ケル鑑定部ノ職制ノ改革トカ、或ハ其ノ他

ノ內部ノ機構ニ對シテモ、ソレトモ改革ヲシテ居ラレト云フノデ、非常ニ結構ダト思ヒマスガ、今後共、尤モ私達モ從來關心ヲ持ッテ居リマスガ、鑑定價格ニ付テハ銀行ノ經營上、堅實デアアル爲ニ、法律デ決メラレマシタ貸付ノ擔保ニ對スル掛ケノ改正ナドト云フモノハ、此ノ儘ニシテ置キマシテ、鑑定ノ基準ヲ過去ノ古イ基準ニ拘泥セズニ、出來ルダケ時價ニ順應シタヤウニ內部デ改正シテ戴クコトガ必要ダト思ッテ、ソレヲ希望シテ置ク次第デアリマス、次ニ勸業銀行ノ定款ヲ拜見致シマス、三十一條ニ「同一ノ借主ニ對シ拂込資本金及諸積立金ノ合計額ノ百分ノ十ヲ超過シタ貸付ヲ爲スコトヲ得ズ」ト云フ制限ガゴザイマスケレドモ、此ノ勸銀ノヤウナ長イ經營ノ歴史ヲ經驗トヲ持テ、今日ノヤウナ良好ナ內容ヲ持ッテ居ル有力ナ銀行ニ對シテハ、經營當局者ノ責任ニ於テ、斯ウ云フ制限ハ撤廢シテ、モット自由ニ貸付先ノ質ニ重點ヲ置カレマシテ、例ヘバ工業財團ノヤウナ大キナ方面ニ、モット積極的ニ進出貢獻シテ戴イテハドウカト思ッテ居ルノデアリマスルガ、世間デハ往々勸業銀行ダトカ、北海道拓殖銀行トカ云フ是等ノモノハ、農林、漁業方面ノ金融ヲ專ラニスベキモノダト云フヤウニ考ヘル方モアルヤウデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ觀念のナ片付ケ方ハ、甚ダ實情ニ副ハナイノデヤナイカト思フノデアリマス、殊ニ國土計畫ノ内容ニ付テハ、私ハ詳細ニ窺ヒ知ルコトハ出來マセヌノデアリマスケレドモ、常識カラ申シマシテモ、工場ヲ地方ニ分散サセルト云フコトハ、常識上推察出來ルノデアリマスケレドモ、色大工場、大工業ガ地方ニ興リマシ場合

ニハ、是等ノ銀行ノヤウニ全國ニ支店網ヲ持ッテ居ル銀行ニ依ッテ、工業金融ヲ受ケルト云フコトハ非常ニ便利ナ好都合ナコトダト思フノデアリマスカラ、勸業銀行ノヤウナハ、工業金融ニ一ツ自由ニ協力シテ戴クコトガ非常ニ望マシイコトダト思ッテ居ルノデアリマス、只今デモ興業銀行ガ工業金融……工場財團ナドニ非常ニ力ヲ入レテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、興業銀行デモ、少シ大キナ工場財團ニナリマス、シンデケイト「ヲ作ッテ、市中ノ銀行ノ協力ヲ得テ居ラレルヤウデアリマスカラ、サウ云フ點カラ鑑ミマシテモ、勸業銀行ガ此ノ工場金融ニ乗り出サレテモ、興業銀行ト摩擦ヲ生ズルト云フヤウナ憂ハ全然ナイノデヤナイカ、寧ロ只今ノヤウナ非常ニ發展シテ居リマスル日本工業界ノ實情カラ見マスレバ、却テ歡迎サレルノデヤナイカト思フノデアリマス、是ハ定款ノ改正トカ、內部ノ規定ノ改正トカ云フコトハ、銀行自體ノコトデハゴザイマセウケレドモ、監督官廳トシテハ大藏省當局ノ御方針デハ今後共勸業銀行等、是等ノ銀行ヲシテ工業金融ニ益、積極的ニ協力サセルコトニ御賛成デゴザイマセウカ、或ハ御反對ノ御意見デゴザイマセウカ、其ノ點ヲ參考ニ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(廣瀨豐作君) 只今ノ御質問ハ誠ニ御尤ナ御質問ダト思フノデアリマスガ、最初ニ御話ニナリマシタヤウニ、今回ノ改正法律案ガ通過致シマスレバ、當然勸業銀行ト致シマシテハ、此ノ改正法律案ノ限度ニ於テハ現在ノ定款ノ改正ヲ必要ト致シマス、其ノ際ニ於テ更ニ從來ノ窮屈ナ部分ノ定款ヲドウ直スカト云フコトガ問題ニナラ

ウト思フノデアリマス、ソコデ今回ノ勸業銀行法ノ改正ニ當リマシテ、政府ノ大體ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマスルガ、御承知ノヤウニ、臨時資金調整法ニ於キマシテ、今回興業債券ノ限度ヲ十億カラ二十億ニ致シマシタ、詰リ此ノ事變ニ際シマシテノ事變金融ト云フモノノ中心ハ矢張り興業銀行ヲシテ當ラシメル、從ヒマシテ今回十億圓モノ政府保證ノ興業債券ノ増發ヲ豫定致スト云フコトモ、ソコニアルノデアリマス、ソコデ勸業銀行ハ今回ノヤウニ改正ヲ致シマシテ、從來ヨリモ更ニ一層廣ク此ノ事變金融ニ協力ヲ致ス譯デアリマスルガ、ソレハ大體ニ於テ農業、林業水産業、此ノ方面ニ主力ヲ注ギマシテ、而モ大體ニ於テ興業銀行ノ補充ノナ働キヲ致サセル、斯フ云フ考デ居ル譯デアリマス、ソコデ興業銀行ト同ジ大キサ、同ジ範圍デ活動スルト致シマスレバ、例ヘバ臨時資金調整法ノ改正ノ機會ニ於テ、勸業債券ニ付テモ何等カノ規定ヲ設クベキデアルノデアリマスルガ、只今ノ所デハ勸業銀行ヲシテ興業銀行ト同ジヤウナ、例ヘバ一ツノ會社ニ對シテ數千萬圓、一億ニ近イヤウナ貸付モサセルト云フ考ハゴザイマセヌカ、寧ロ興業銀行ノ大キナモノヨリモ一段ト小口ト申シマスカ、比較スレバ小口ニナリマスルケレドモ、先ヅ中位ナ、中以下ノ所ヲ狙フ、斯フ云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ勸業銀行ガ一年間ニ要スル所ノ資金ト云フモノモ、臨時資金調整法ニ於テ何等カノ規定ヲ設ケルコトヲ必要トスル程度ニ差當リハ要ルマイ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、先程御指摘ニナリマシタ、定款ノ三十一條ニアリマスル拂込資本金及諸積

立金ノ合計額ノ百分ノ十ヲ超過シテ貸付ヲ爲スコトガ出來スト云フ規定ガアルコトハ事實デゴザイマスガ、現在勸業銀行ノ拂込資本金ト積立金ノ合計ハ二億八九千萬圓アリマス、從ッテ假ニ百分ノ十ト云フ割合ヲ取リマシテモ、一ツノ會社ニ對シマシテ二千八九百萬圓ハ貸付ケ得ル譯デアリマス、其ノ程度デアリマスレバ先ヅ我々ノ狙ッテ居ル勸業銀行ノ受持ツベキ役割ト致シマシテハ、先ヅ其ノ邊ガ丁度宜イ所デヤナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併シナガラ本法改正ノ結果、尙又今後事變ノ推移ニ依リマシテ、勸業銀行ヲシテモット大口ナ貸付ニ當ラシメル必要ガアルト云フコトニナリマスレバ、更ニ考慮致シマシテ此ノ次ノ改正ノ機會ニ於テ十分考慮致シタイト思ヒマスルガ、差當リ今回ノ提案ノ際ニ、サウ云ッタヤウナ氣持デ提案ヲ致シタト云フコトヲ御了承願ヒタイト思ヒマス、尙三十一條ハ定款ノコトデゴザイマスカラ、此ノ定款ハ不日何レハ改正シナケレバナラヌ譯デアリマスルカラ、此ノ三十一條ノ定款其ノモノニ付キマシテモ、政府ト致シマシテモ研究ハ致シタイト思ヒマス、此ノ儘ニ置クカ、或ハ之ヲ或程度直スカト云フコトニ付キマシテハ、尙研究致シテ置キタイト思フ次第デアリマ

ニ、日本ノ工業界ノ機構モ必ズシモ大工場ダケニ統一シテシマフヤウナ國家ノ御方針デモナイヤウデアリマスノデ、ソレニ補助的ニ中以下ノ工業モ成立タセル御方針ノヤウニ最近ハ察セラレルノデアリマスガ、サウ致シマスレバ先程モ申シマシタ國土計畫ノ關係ヤ何カカラ考ヘマシテモ、地方ニ澤山中以下ノ工業會社ガ出來ルコトガ想像出來ルノデゴザイマスケレドモ、ソレ等ニ對シテ地方ニ支店ヲ持ッテ居リマス勸業銀行ガ、世間ノ一部デ言ハレテ居リマスルヤウニ、勸業銀行ハ農林、水産業ダケニ專心スルノダト云フヤウナ考ヘ方ヲ拾デテ、是等ノ工業部門ヘモ金融上ノ御協力ヲ願ヘレバ非常ニ宜イノダト思ヒマスケレドモ、其ノ點ノ御方針モ何ッテ置ケバ非常ニ參考ニナルト思ヒマス

モ宜イ位ニ支店ノ數ガ多イノデアリマス、又從來不動產、田畑、土地等ニ對スル造詣ノ深い銀行デアリマス、又工業金融ニ付キマシテモ從來全然無經驗ト云フ譯デハゴザイマセヌ、ソレデ政府ト致シマシテハ、斯ウ云フヤウナ時代ニ於テ勸業銀行ガ此ノ方面ヘ乘出スト云フコトハ、非常ニ適當ナ機會デアルト斯ウ云フ感ジヲ持ッテ次第デアリマス、唯其ノ際ニ於キマシテモ金額ニ付キマシテハ、丁度何ト申シマスカ中以下ト申シマスカ、非常ニ大キナモノデナイ所ヲ狙フト云フコトニ致サセルコトニ依ッテ、勸業銀行ト興業銀行トノ摩擦ト云フコトガナクナリマシテ、宜イノデハナイカ、尙是ハマダハッキリ決メタ譯デハゴザイマセヌガ、政府ニ於テ目下研究シテ居リマスル所ハ、興業銀行ト勸業銀行トガ共同融資ヲスルト云フコトモ考ヘ居リマス、サウ致シマスレバ兩方ノ銀行デ一ツ會社ニ對スル貸付金額ガ少クテ濟ム譯デアリマス、サウシテ共同調査ヲ致シ、サウシテ共同シテ資金ノ融通ヲ致スト云フコトニナリマスレバ、最モ宜イデハナイカト云フコトモ考ヘテ居リマシテ、成案ガ得ラレタナラバサウ云フコトモ將來ハヤッテ行キタイト云フコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○男爵西園乙君 今回ノ改正ニ付キマシテ山林抵當ノ貸付金ノ從來ノ定期償還ニ關スル五年ヲ最長二十箇年ニ御改正ニナリマシタコトハ、是ハ大變從來ニ較ベテ非常ナ進歩ダト思フノデゴザイマスガ、近頃ノヤウニ木材ガ上ッテ參リマス、兎角モウ少シ銀行ガ持ッテ呉レタラアノ山ヲ手放サナイデ濟ンダノニト云フヤウナ怨ミ言ヲヨク聞クノデアリマスケレドモ、マア銀行カラ金

ヲ借りテ居ルト云フ場合ハ兎角勝手ナコトヲ言フモノデアリマスカラ、其ノ言葉ダケヲ額面通り受取ル譯ニ行キマセヌケレドモ、

サウ云フ場合ニ元來勸業銀行ノヤウナモノハ長期ノ資金ヲ持ッテ居ルト云フ所ニ特徴ガアルノデゴザイマスカラ、出來ルダケ事業ヲ育成シテ行クト云フ方針ノ下ニ、餘リ整理ヲ御急ギニナラヌヤウニヤッテ載クコトガ非常ニ仕合セダト思フノデアリマスカ、今度ノ定期償還ノ年限ヲ大幅ニ延バサレタコトハ勿論其ノ御趣旨ニ依ルコトト思ッテ居リマスカ、私山林ノコトナドハ素人デ全ク無知識デアリマスカ、日本ノ杉ノ木ナドモ試伐期ニ入ルノガ三十四年ト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレ等ノ點カラ考ヘテモ二十箇年ト云フノハ是ハ十分ダト御考ヘノ上ナノデアリマセウカ、或ハ場合ニ依ッテハ之ヲ借換ナドト云フヤウナコトニシテ、之ヲ延バス餘地モアルモノナンデアリマセウカ、御教示ヲ願ヒタイト思フノデアリマスカ

○政府委員(相田岩次郎)

二十年デ十分デアアルカドウカト云フ御尋デゴザイマスカ、森林金融ニ付キマシテハ、植林ノ時カラ伐採ノ時迄、全期間ニ付テ資金ノ融通ヲスルト云フ、サウ云フ意味ニ於キマシテハ、二十箇年デハ必ズシモ十分デアルトハ、申セナイト思ヒマス、併シ植林後間モナイ幼齡林ニ付キマシテハ、十分ナ抵當ト認メ難イ場合モアリマスカ、矢張り植林後或程度ノ期間ヲ經過シテ山林ヲ對象トスル必要ガアルト存ゼラレマスカ、此ノ點カラ申シマシテ、先ヅ二十箇年程度ニ之ヲ延長致シマスレバ、澤山デアラウト、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス、ソレカラ更ニ借換ハ認

メルカドウカト云フ御話デゴザイマスカ、是ハ結局實情ニ應ジテヤルト申上ゲタイト思ヒマス

○農務西乙君

數年前カラ農林、水産方面ノ地方ノ金融ヲ一元化スルト云フ御趣旨デアツヤウニ伺ッテ居リマシタガ、地方ノ農工銀行ヲ勸銀ヘ合併サセルト云フヤウナ傾向ニ承知シテ居リマシタガ、其ノ後勸銀ヘノ地方農工銀行ノ合併吸収ナドト云フコトハ、ドウ云フ經過ニナッテ居リマセウカ、今デハ幾ツ位マダ殘ッテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、サウシテ其ノ統一一元化ノ方針ニ付テハ、其ノ方針ヲ御變ニナラナイデ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(廣瀬豐作君)

現在農工銀行デ殘ッテ居リマスノハ五ツデゴザイマス、現在殘ッテ居リマスル農工銀行ハ、何レモ相當基礎確實デアリマシテ、其ノ土地ニ於テ相當ナ信用ヲ持ッテ、相當ノ働キヲ致シテ居ルノデアリマス、政府ト致シマシテハ、是等ノ農工銀行ヲ勸業銀行ヘ合併スルコトニ付キマシテハ、大體ノ建前ト致シマシテハ、望マシイコトト思ッテ居リマス、併シ之ヲ是非急ニ農工銀行方面ノ意思ニ反シテ迄モ、急イデ之ヲ合併サセルト云フ程ノ必要モ認メテ居リマセウカ、大體機運ノ熟シタ際ニ於テ、適當ニ、無理ナク、漸次合併ガ行ハレルコトヲ期待シテ居ル譯デアリマス、其ノ程度ニ一ツ御承認願ヒマス

○男爵西乙君

只今ノ農工銀行ト勸業銀行ニ關スル御方針ハ極メテ穩健妥當ナ御方針ト思フノデアリマスカ、地方ニ對立摩擦ガ起ラスヤウニト云フ御意圖ハ依然トシテ御アリニナルヤウニ伺ヒマシタ、處デ先程モ次官カラ御話デゴザイマシタ産業組合中

中央金庫トノ關係デゴザイマスカレドモ、先程ノ御話ヲ伺ヒマス、産業組合中央金庫ハ、集メタ資金ヲ他ニ預ケルトカ、或ハ有價證券投資ヲシテ、資金ノ運用ヲ圖ッテ、農村ヘノ貸出ハ兎角消極的デアルト、斯ウ云フヤウナ狀況デアルカラ、勸業銀行ガ農村ヘノ貸出ニ進出シテモ別ニ摩擦ヲスルヤウナコトガナイト云フヤウニ伺ヒマシタ、

將來中央金庫ト致シマシテモ、御承知ノヤウニ有價證券投資ノ利廻モ低クナリマシ、他ノ金融機關ヘノ預金利率モ段々低下シテ來ルヤウナ狀況デスカラ、何レハ自己ノ計算上、今迄有價證券ニ投資シタリ、他ノ金融機關ヘ預金ヲシテ資金ヲ運用シテ居タト云フコトモ、安全トカ自己保存ノ採算上ニ基因シテ居ルノダト思ヒマスカラ、サウダトスレバ、當然利率ノ比較的高イ農村ヘノ貸付金ノ方ヘ資金ヲ廻サヤウニナリハセヌカト私ハ想像スルノデアリマスカ、サウ云フヤウナ情勢ガ想像出來ルト致シマス、依然トシテ勸業銀行ト農工銀行ト此ノ産業組合中央金庫トノ分野ガ交錯シテ來ルヤウナ懸念ヲ多分ニ持ッテ居ル、産業組合中央金庫ト他ノ金融機關トノ關係ハ、産業組合ト他ノ中小商業部門トノ關係ノヤウニ、私達ト致シマシテモ非常ニ色々ナ問題ガ起ルコトヲ懸念シテ居ル、是等ノ調整ハ現在ノヤウナ非常時局ニ於テハ殊ニ大切ダト思フノデアリマスカ、之ニ對シテドウ云フ御方針御對策ヲ御持チナノデアリマセウカ、伺ハマスレバ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(廣瀬豐作君)

産業組合ノ問題ニ付キマシテハ、先程テヨット申上ゲタノデゴザイマスカ、要スルニ産業組合ノ從

來ノ營業ノ仕方ハ、組合員ノ利益ヲ圖ル爲ニ、成ルベク高イ金利デ金ヲ預リ、サウシテソレヲ有利ニ運用致シマシテ、利益ヲ擧ゲマシテ、組合員ニ對スル配當モ餘計ニ致シタイト、斯ウ云フ氣持ガ非常ニ働イテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ、例ヘバ銀行預金ノ金利ノ水準ヲ下ゲルト云フ場合ニ於キマシテモ、一番下ゲ方ノ遅イノガ産業組合デアリマス、サウ云ツタ風ニ高イ「コスト」ノ預金ヲ扱ヒマスカラシテ、之ヲ低利ニ運用スル譯ニ行カナイ、從ヒマシテ、例ヘバ今回ノ場合ニ於テ、各金融機關トモ國債ヲ第一番ニ持ッテ貰ヒタイト申シマシテモ、

産業組合ハ自分ノ資金「コスト」ノ上カラ云ツテ、國債ヲ餘計持チ得ナイノデアリマス、從ヒマシテ、國債以外ノ社債トカ、場合ニ依ッテハ株式ヲ持タナケレバ、採算ガ合ハヌト云ツタヤウナ關係デ、先程申上ゲマシタヤウニ、有價證券ノ投資ヲ行ヒ、又組合員ニ對スル貸付ト云フモノモ、是モ兎角、詰リ組合員ニ於テノ貸出ノ際ニ於キマシテハ、産業組合ノ建前ト致シマシテハ、御承知ノヤウニ毎年各組合員ニ對スル貸付限度ト云フモノヲ決メテ居リマス、サウ云フ一方ニ於テ制限ガアリマス所ヘ、必ズシモ組合員ニ適當ナ貸付ノ對象トナルベキ人ガ居ナイト云フヤウナコトモアリマセウシ、貸付ノ擔保ニ取ルモノガ非常ニ複雑デアルト云ツタヤウナ關係モアツタリ致シマシテ、ナカナカ簡單ニハ金融ガシカネルト云フヤウナコトカラシテ、十分ナ貸付ガ行ハレナイモノト見テ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ産業組合ノ中ノ信用組合ト云フモノト、地方銀行其ノ他不動産銀行トノ間ノ關係ヲドウ調整シテ行カト云フコトハ、非常ニ重要

ナ問題デアリマス。政府ト致シマシテハ年々問題デアリマス、政府ト致シマシテハ年々此ノ點ニ付テハ考慮ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、最近ニ於キマスル産業組合ハ、御承知ノヤウニ農産物ノ生産者トシテノ産業組合ガ、之ヲ配給ヲ致シ、市場ニ賣出スト云フ場合ニ於テ、相當ノ運轉資金ヲ要スルト云フ關係ガアリマシテ、其ノ方面ニ或程度資金ヲ使フト云フ傾向ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ最近段々ト、米ニ付キマシテハ國家管理ガ行ハレ、其ノ他農産物ニ付キマシテモ、配給系統ノ變化ト云フモノガ部分的ニ起ッテ居リマス、此ノ變化ト云フモノガドノ程度擴ガルト云フコトハ、只今丁度經過のナ時代デアリマシテ、大體ノ見透シ付ケマスノニハ、只今ハ餘リ適當デナイノデゴザイマス、政府ト致シマシテハ、モウ少し、農村ノ生産ト配給トノ機構ガドウ云フ風ニナッテ行クカ、ソレニ依ッテ信用組合ノ資金ト云フモノガドウ云フ風ニ利用サレテ行クカ、ト云フコトヲ見究メタ上デ、ソレト地方銀行及不動産銀行トノ調和ト云フモノヲ圖ッテ行キタイ、斯ウ云フ考デ居リマスノデ、甚ダ明快ナル御答ガ出來ナイノハ残念デゴザイマスルガ、御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯備堀田正恒君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……日本勸業銀行法中改正法律案外二件ニ付テノ質疑ハ、是デ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯備堀田正恒君) 終了シタモノト認メマス、是ヨリ討論ニ入リマス、御意見ガゴザイマシタラドウゾ……

○子爵梅園憲彦君 私ハ只今議題トナッテ居リマスル所ノ國民貯蓄組合法案外四件ニ對シマシテ贊成ヲ致ス者デアリマス、此ノ時局下ニ於ケル國民貯蓄ノ増強ヲ圖ルガ爲ニ、國民貯蓄組合法ヲ制定スル、或ハ最近ニ於ケル中小商工業者ノ狀況ニ鑑ミラレマシテ、茲ニ國民更生金庫ヲ設ケ、以テ之ガ轉業又ハ廢業ヲ爲ス者ノ資金並ニ負債ノ整理ヲ促進致シマシテ、其ノ更生ヲ圖ルノ要アルコトハ論ヲ俟チマセヌ、又經濟界ノ情勢ニ即應致シマシテ日本勸業銀行、北海道拓殖銀行及農工銀行法ヲソレノ改正致シ、其ノ機能ヲ擴充スル必要アルコトモ亦言ヲ俟チマセヌ、之ヲ要スルニ何レモ時局下ノ緊迫セル情勢ニ即應シタルモノデアッテ、眞ニ機宜ニ適シタル法案ナリト信ジマス、仍テ私ハ是等ノ五法案ニ贊成ヲ致ス者デアリマス、併シナガラ之ガ實施ニ當マシテハ、深甚ノ考慮ヲ拂ハレタイノデアリマス、就中國民更生金庫法ノ運用ニ付テハ、格別ノ御配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、即チ其ノ貸付手續ニ付キマシテハ、出來ルダケ之ヲ敏速簡易化スルコトヲ熱望致シマスルト共ニ、轉廢業者ノ資産ノ評價ニ付テハ、之ガ妥當適正ヲ期セラル、ト同時ニ可及的速カニ御決定ヲ願ヒ、以テ其ノ貸付ノ時機ヲ失セザルヤウ希望致シマシテ、各法案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス

○河原田稼吉君 私モ此ノ提案ニナリマシタ各法案ニ贊成ヲスル者デアリマス、唯此ノ機會ニ國民更生金庫法案ニ對シテ一、三ノ點ヲ申述ベタイト思ヒマス、國民更生金庫法案ノ如キ施設ハ、現下ノ非常時局下ニ於テ極メテ必要ナルモノデアッテ、寧ロ其ノ實現ガ遅カッタデヤナイカト云フ位ニ考ヘルノデアリマシテ、極メテ適切ナモノト思フノデアリマス、唯此ノ際御注意ヲ願ヒタイコトハ、即チ其ノ運用ニ付テ十分ノ御工夫ヲ願ヒタイ、而シテ折角此ノ機能ヲ發揮スルニ遺憾ノナイヤウニ願ヒタイノデアリマス、私ガ申ス迄モナク、此ノ國民更生金庫ノ適用ト云ヒマスカ、其ノ恩惠ヲ受クベキ人々ハ、所謂自分ノ責任、即チ轉廢業ト云フコトガ自分ノ責任カラ出タモノト言ヒ得ナイノデヤナイカ、即チ前ノ自由經濟ノ時代ニ於キマシテハ、轉廢トカ廢業ト云フコトハ、或ハ其ノ人ノ怠慢トカ或ハ其ノ人個人ノ運不運ト云フヤウナコトニ左右セラル、コトガ非常ニ多カッタノデアアル、然ルニ今回此ノ非常時局下ニ於テハ、所謂經濟上ノ統制、是ハ私ハ益々強化サレ、又強化サレテ然ルベキコトト思フノデアリマスガ、統制經濟強化ノ結果トシテ轉廢業ヲセザルノ已ムヲ得ザルニ至ッタト云フヤウナ人ハ、是ハ其ノ人ノ責任ト云フヨリモ、寧ロ國家、或ハ國民全體ガ其ノ責任ヲ分擔シテ宜イモノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思フ位デアリマス、又此ノ法案ノ趣旨モ私ハ其處カラ出テ來テ居ルモノト思フノデアリマス、從ヒマシテ、其ノ運用ニ付キマシテハ、只今ノ梅園子爵ガ申サレマシタヤウニ、所謂手續ヲ簡明ニシテ、從來ノヤウナ色々ナ煩瑣ノ手續ノナイヤウニ成ルベク之ヲ簡略ニシテ、サウシテ敏速且適切ナ御處置ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、今回ノ法案ハ段々御説明ヲ承リマス、所謂國家ノ計畫ニ基ク轉廢業、斯ウ云フ人々ニ對スル機關デアリマスカラ、是ハ私ガ想像シマスル云フト、法律的ノ強制デハアリマセヌケレドモ、事實上ハ強制セラル、ヤウナ立場ニ立ツ人々ニ對スル機關ト思フノデアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテハ尙更御注意ヲ願フノデアリマス、又一方サウ云フ風デアリマスカラ恐ラク從來アリマシタヤウナ、所謂金融機關ト違ヒマシテ、比較的簡便ニ行クコトト思ヒマスケレドモ、併シ此ノ點ニ付キマシテハ十分御注意ヲ願ヒタイ、唯此ノ機會ニ尙御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス事項ハ、只今私ガ諒解シタヤウニ、此ノ機關ハ所謂計畫ニ基ク轉廢業、從ヒマシテ其ノ人々ノ屬シテ居ル同業組合トカ、或ハ商業組合ト云フモノガ、先ヅ第一ノ決定者ニナルヤウニ思フノデアリマス、言換ヘテ見レバ、同業組合トカ、商業組合ト云フモノガ指導の立場ニ立ツ、即チ轉廢業ノ必要アリヤ否ヤ、其ノ程度如何ト云フヤウナコトヲ決定スルヤウデアリマスカラ、先ヅ第一……ソレカラ續イテマア資產評價委員會等ノ手ヲ經マセウガ、兎モ角第一次ニサウ云フ組合ト云フモノガ指導的ノ立場ニ立ツノデアリマスカラ、其ノ組合ノ幹部ト云フヤウナ人々ハ、相當私ハ權限ヲ持ツヤウナ結果ニナリハシナイカ、從ヒマシテ是等ノ組合等ニ對シマシテハ、政府ニ於テ其ノ指導監督宜シキヲ得ルヤウニシテ、所謂偏頗ナ處置トカ、或ハ無辜ニ泣クト云フヤウナコトノナイヤウニ、十分御注意ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、ソレカラ此ノ機會ニ更ニ申述ベタイコトハ、所謂實務ニ當ル下僚ノ人々、窓口ノ當務者ニ對シテノ御指導宜シキヲ得タイヤウニ思ヒマ

○委員長(伯備堀田正恒君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……日本勸業銀行法中改正法律案外二件ニ付テノ質疑ハ、是デ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯備堀田正恒君) 終了シタモノト認メマス、是ヨリ討論ニ入リマス、御意見ガゴザイマシタラドウゾ……

○子爵梅園憲彦君 私ハ只今議題トナッテ居リマスル所ノ國民貯蓄組合法案外四件ニ對シマシテ贊成ヲ致ス者デアリマス、此ノ時局下ニ於ケル國民貯蓄ノ増強ヲ圖ルガ爲ニ、國民貯蓄組合法ヲ制定スル、或ハ最近ニ於ケル中小商工業者ノ狀況ニ鑑ミラレマシテ、茲ニ國民更生金庫ヲ設ケ、以テ之ガ轉業又ハ廢業ヲ爲ス者ノ資金並ニ負債ノ整理ヲ促進致シマシテ、其ノ更生ヲ圖ルノ要アルコトハ論ヲ俟チマセヌ、又經濟界ノ情勢ニ即應致シマシテ日本勸業銀行、北海道拓殖銀行及農工銀行法ヲソレノ改正致シ、其ノ機能ヲ擴充スル必要アルコトモ亦言ヲ俟チマセヌ、之ヲ要スルニ何レモ時局下ノ緊迫セル情勢ニ即應シタルモノデアッテ、眞ニ機宜ニ適シタル法案ナリト信ジマス、仍テ私ハ是等ノ五法案ニ贊成ヲ致ス者デアリマス、併シナガラ之ガ實施ニ當マシテハ、深甚ノ考慮ヲ拂ハレタイノデアリマス、就中國民更生金庫法ノ運用ニ付テハ、格別ノ御配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、即チ其ノ貸付手續ニ付キマシテハ、出來ルダケ之ヲ敏速簡易化スルコトヲ熱望致シマスルト共ニ、轉廢業者ノ資産ノ評價ニ付テハ、之ガ妥當適正ヲ期セラル、ト同時ニ可及的速カニ御決定ヲ願ヒ、以テ其ノ貸付ノ時機ヲ失セザルヤウ希望致シマシテ、各法案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス

○河原田稼吉君 私モ此ノ提案ニナリマシタ各法案ニ贊成ヲスル者デアリマス、唯此ノ機會ニ國民更生金庫法案ニ對シテ一、三ノ點ヲ申述ベタイト思ヒマス、國民更生金庫法案ノ如キ施設ハ、現下ノ非常時局下ニ於テ極メテ必要ナルモノデアッテ、寧ロ其ノ實現ガ遅カッタデヤナイカト云フ位ニ考ヘルノデアリマシテ、極メテ適切ナモノト思フノデアリマス、唯此ノ際御注意ヲ願ヒタイコトハ、即チ其ノ運用ニ付テ十分ノ御工夫ヲ願ヒタイ、而シテ折角此ノ機能ヲ發揮スルニ遺憾ノナイヤウニ願ヒタイノデアリマス、私ガ申ス迄モナク、此ノ國民更生金庫ノ適用ト云ヒマスカ、其ノ恩惠ヲ受クベキ人々ハ、所謂自分ノ責任、即チ轉廢業ト云フコトガ自分ノ責任カラ出タモノト言ヒ得ナイノデヤナイカ、即チ前ノ自由經濟ノ時代ニ於キマシテハ、轉廢トカ廢業ト云フコトハ、或ハ其ノ人ノ怠慢トカ或ハ其ノ人個人ノ運不運ト云フヤウナコトニ左右セラル、コトガ非常ニ多カッタノデアアル、然ルニ今回此ノ非常時局下ニ於テハ、所謂經濟上ノ統制、是ハ私ハ益々強化サレ、又強化サレテ然ルベキコトト思フノデアリマスガ、統制經濟強化ノ結果トシテ轉廢業ヲセザルノ已ムヲ得ザルニ至ッタト云フヤウナ人ハ、是ハ其ノ人ノ責任ト云フヨリモ、寧ロ國家、或ハ國民全體ガ其ノ責任ヲ分擔シテ宜イモノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思フ位デアリマス、又此ノ法案ノ趣旨モ私ハ其處カラ出テ來テ居ルモノト思フノデアリマス、從ヒマシテ、其ノ運用ニ付キマシテハ、只今ノ梅園子爵ガ申サレマシタヤウニ、所謂手續ヲ簡明ニシテ、從來ノヤウナ色々ナ煩瑣ノ手續ノナイヤウニ成ルベク之ヲ簡略ニシテ、サウシテ敏速且適切ナ御處置ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、今回ノ法案ハ段々御説明ヲ承リマス、所謂國家ノ計畫ニ基ク轉廢業、斯ウ云フ人々ニ對スル機關デアリマスカラ、是ハ私ガ想像シマスル云フト、法律的ノ強制デハアリマセヌケレドモ、事實上ハ強制セラル、ヤウナ立場ニ立ツ人々ニ對スル機關ト思フノデアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテハ尙更御注意ヲ願フノデアリマス、又一方サウ云フ風デアリマスカラ恐ラク從來アリマシタヤウナ、所謂金融機關ト違ヒマシテ、比較的簡便ニ行クコトト思ヒマスケレドモ、併シ此ノ點ニ付キマシテハ十分御注意ヲ願ヒタイ、唯此ノ機會ニ尙御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス事項ハ、只今私ガ諒解シタヤウニ、此ノ機關ハ所謂計畫ニ基ク轉廢業、從ヒマシテ其ノ人々ノ屬シテ居ル同業組合トカ、或ハ商業組合ト云フモノガ、先ヅ第一ノ決定者ニナルヤウニ思フノデアリマス、言換ヘテ見レバ、同業組合トカ、商業組合ト云フモノガ指導の立場ニ立ツ、即チ轉廢業ノ必要アリヤ否ヤ、其ノ程度如何ト云フヤウナコトヲ決定スルヤウデアリマスカラ、先ヅ第一……ソレカラ續イテマア資產評價委員會等ノ手ヲ經マセウガ、兎モ角第一次ニサウ云フ組合ト云フモノガ指導的ノ立場ニ立ツノデアリマスカラ、其ノ組合ノ幹部ト云フヤウナ人々ハ、相當私ハ權限ヲ持ツヤウナ結果ニナリハシナイカ、從ヒマシテ是等ノ組合等ニ對シマシテハ、政府ニ於テ其ノ指導監督宜シキヲ得ルヤウニシテ、所謂偏頗ナ處置トカ、或ハ無辜ニ泣クト云フヤウナコトノナイヤウニ、十分御注意ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、ソレカラ此ノ機會ニ更ニ申述ベタイコトハ、所謂實務ニ當ル下僚ノ人々、窓口ノ當務者ニ對シテノ御指導宜シキヲ得タイヤウニ思ヒマ

○委員長(伯備堀田正恒君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……日本勸業銀行法中改正法律案外二件ニ付テノ質疑ハ、是デ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯備堀田正恒君) 終了シタモノト認メマス、是ヨリ討論ニ入リマス、御意見ガゴザイマシタラドウゾ……

ス、從來ノ統制經濟ニ對スル國民ノ不滿ト云フコトハ色々アリマセウケレドモ、私共ノ聽ク所ニ依ルト云フト、寧ろ實際ノ先々、所謂窓口當務者ニ對スル不平不滿が多イハウニ思ハレル、政府ノ中心ニ立チ、若シクハ各官廳ノ中樞ニ立ツ人々ハ、ソレハ廣ク又深切ニ考ヘラレテ居リマシテモ、ソレガ先々ニ行クト云フト、遂ニ亂雜ニナルト云フヤウナ所ニ不平不滿ガ基因スル所ガアルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、殊ニ今回ノ轉廢業者ト云フモノハ、所謂國策ノ結果ト下言ヒマス、サウ云フ所カラ出テ來タ人々デアリマスカラ、十分其ノ局ニ當ル出先ノ人、即チ先々ノ官廳ノ實際ニ當ル人、或ハ更生金庫ノ實際ノ當務者ト云フヤウナ人ハ、餘程利用ヲシヨウト云フ人ノ立場ニ立ツテ、本當ニ深切ニ考ヘテヤル、斯ウ云フ風ニ御指導ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府委員ノヤウナ高級ナ方々ノ所デハ、ソレゾレ如チナク御考デアリマセウケレドモ、併シソレガ尙ヨク先々ニ徹底スルヤウニ常ニ御指導ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙一ツ附加ヘテ申上ゲタイコトハ、段々御説明ヲ伺ヒマス云フト、國民更生金庫法ノ金庫ノ活用ナリ、利用ヲナシ得ル人々ハ所謂政府ノ計畫ニ基キ轉廢業者デアリマシテ、ソレニ該當セザルモノ、何ト云フカ、自由轉廢業、斯ウ云フ人々ハ、此ノ金融ノ便宜ヲ受ケ得ナイヤウデアリマス、同ジク時局ノ重壓ニ依ツテ轉廢業ヲセザルヲ得ナイヤウナ人々デアリマスカラ、其ノ外ノ點ハ色々御施設ガアルヤウデアリマスガ、金融ニ關スル限リニ於テハ、聊カ計畫轉廢業ト自由轉廢業トノ間ニ稍、均衡ヲ失スルヤノ嫌モ見受ケラレルノデアリマス、是等ニ付

キマシテハ將來尙政府ニ於テ十分考慮アラムコトヲ希望スルノデアリマス、私ハ終始此ノ委員會ニ出席ヲ致シマシテ、委員ノ皆樣ノ段々ノ御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、委員諸公ニ於カレマシテモ、此ノ國策ノ犧牲ニナリマスベキ轉廢業者ノ立場ニ對シテハ、深甚ナ同情ヲ御持ニナッテ居ルヤウデアリマス、又其ノ取扱ニ付テハ大イナル關心ヲ御持ニナッテ居ルヤウデアリマス、殊ニ此ノ運用ニ付テハ適切敏速ノ措置ト云フコトニ付テ皆樣方ガ御希望ヲ持ッテ居ラレルヤウニ、甚ダ僥越ナガラ拜察スルノデアリマス、此ノ機會ニ於テ是等ノ點ニ付テ政府當局ノ御所見ヲ一ツ御開陳ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、私ハ本案ニ賛成スル者デアリマス

○子爵三島通陽君 私モ此ノ五法案ニ贊成ヲスル者デゴザイマス、而シテ此ノ更生金庫法案ニ付キマシテ一點意見ヲ申述ベタイト存ジマス、只今河原田サン梅園サンカラモ縷々御意見ヲ御述ニナリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ全然御同感デアリマスガ、尙此ノ國民更生金庫ガ金融ヲシテカラ先キノ轉廢業者ニ對シテ本金庫モ亦厚生省、特ニ職業指導所、勤勞訓練所ノ御指導聲援ト云フヤウナモノヲ併セテ御願ヲ致シタイト思フノデアリマス、金ヲ貸シテシマツテ、ソレデ貸シ放シダト云フノデナク、是カラ更生ヲシテ新シイ途ヲ開拓シテ行クト云フ人ハナカ／＼骨ガ折レルコト思ヒマス、十中八九迄ハナカ／＼金モ償還ガ出來ナイ人ガ多イノデハナイカト思ハレマス、併シ中ニハ勇敢ニ新シイ途ヲ切開カレテ、サウシテ金モ早く償還出來ルト云フヤウナ人ガアルドラウト思ヒマス、又アッテ欲シイ

ノデアリマス、サウ云フヤウナ人ニ對シテハ相當何カ獎勵金デモヤルトカ、又金ノ方ハ與ヘテ貰ヘレバ尙宜イケレドモ、或ハ表彰ヲスルトカ、色々ナ方法ガ考ヘラレ得ルドラウト思ヒマス、私ハ茲ニ具體的ナ斯ウシロア、シロト云フコトハ申シマセス、唯何等カノサウ云フコトモ考ヘテ宜イノデヤナイカ、例ヘバ勸業銀行邊リカラ借リタ金ヲ早く返ス場合ニハ違約金ヲ取ラレル、併シ此ノ金庫カラ金ヲ借リタ場合ハ早く返セタ場合ニハ御褒美ガ貰ヘルト云フヤウナコトガアッテモ宜イノデヤナイカ、併シ其ノ方法ハ私ハ此處デドウ云フ方法ト云フコトハ申サナイノデアリマスガ、何等カノサウ云フ方法ヲ考ヘテ獎勵スル、サウ云フ人ヲ大イニ稱揚ヲシテ宣傳ヲスルト云フコトガ、又次ニ來ルベキ轉廢業者ニ大キナ勇氣ヲ與ヘルノデハナカラウカ、希望ヲ與ヘルノデハナカラウカト云フコトガ考ヘラレル、又職業指導所勤勞訓練所ヲ出テカラ先キノ此ノ實際社會ニ活動シテ居ル戰士、或意味デ開拓士ト云フヤウナ人ニ對シテ、其ノ絲ガ何時迄モ切れナイヤウニ厚生省等ニ於キマシテ十分御指導聲援ヲシテ戴キタイト云フコトヲ申述ベテ、此ノ法案全部ニ贊成ヲ致ス者デアリマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今梅園子爵、河原田委員、三島子爵御三方カラ何レモ有益ナル御意見ノ御開陳ガアリマシテ、政府當局ト致シマシテモ誠ニ御意見ニ付キマシテハ、深甚ナル敬意ヲ拂ヒマスルト共ニ、御同感ニ存ズル點ガ少クナイノデゴザイマス、即チ更生金庫ノ運用ニ當リマシテ、貸出ヲ出來ルダケ簡易敏速ナラシメヨト云フ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ、夙ニ其ノ點ハ考慮ヲ致シテ居ッタ所デアリマシテ、今回法律案ノ提出前ニ於キマシテモ、取敢ズ昨年ノ秋、財團法人國民更生金庫ヲ設立致シマシテ、昨年ノ十二月ニ二千萬圓ヲ限ッテ、此ノ資金運用令ニ基キ融資命令ヲ既ニ發シテアルノデアリマスルガ、是ト申シマスノモ、何時デモ融資ノ必要ガアリマスル際ニハ、金庫ヲシテ機會ヲ逸セズシテ貸出ガ出來ルト云フ考慮カラ出デタ次第デアリマス、今回本法律案ガ通過致シマシテ、法律ニ基キ更生金庫ガ出來マシタ後ニ於キマシテモ、此ノ考ヘ方ハ益之ヲ持續致シマシテ、出來ルダケ貸出ニ際シマシテハ簡易敏速ニシタイト存ジテ居ル次第デアリマス、次ニ、組合幹部、詰リ轉廢業者ヲ包容シテ居リマスル所ノ、組合ノ幹部ニ對シナイヤウニ致スヤウニト云フ御注意モ誠ニ御尤デゴザイマシテ、斯ウ云ツタヤウナコトニ付キマシテハ、今後此ノ重大ナル轉廢業問題ノ解決ニ際シマシテハ、最モ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ點ダト考ヘル次第デアリマス、御注意ノ點ハ十分政府ニ於テモ尊重致シタイト思ッテ居ル次第デアリマス、次ニ、窓口事務ヲ取扱フ人間ニ對シテ、十分ナル指導ヲ致シ、深切丁寧ヲ期セヨト云フ御注意デゴザイマスルガ、是モ誠ニ御尤デゴザイマス、此ノ點モ誠ニ今後ニ於テハ必要ナコトト存ズルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、二三年前カラ庶民金庫ヲ設立致シマシテ、相當小口ノ薄資階級ノ人達ニ對スル金融ヲ行ッテ居ルノデアリマスルガ、此金庫ノ運営ニ當リマシテモ、政府ト致シマシテハ同様ノ點ヲ考慮致シマシテ、出來ルダケ窓口事務ニ付テハ深切丁寧ヲ期スルヤウ

ニト云フコトヲ期待シ、希望モ致シタノデア
リマスルガ、幸ヒ只今迄ノ所デハ大體大キナ御
非難モナク、庶民金庫ガ營業ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、更生金庫ノ營業ニ付キマシテモ、
斯ウ云ツタ經驗ヲ十分生カシマシテ、十分金
庫ノ利用者ニ不滿ナカラシメタイト存ジテ
居ル次第デアリマス、次ニ、此ノ自由轉廢
業者ニ對スル施設ニ付キマシテモ、政府ニ
於テ相當考慮スルヤウニト云フ御話デゴザ
イマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、事變以
來政府ガ低利資金ヲ、轉業資金ト云フモノ
ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、是ハ相當ノ
成績ヲ擧ゲテ居リマシテ、商業組合、工業
組合ハ勿論ノコト、一般ノ個人ニ付キマシ
テモ、轉業ヲ必要トスル者ニ對シマシテハ、
低利資金ヲ現在供給致シマシテ、既ニ實績
ノ上ニ於テ數千萬圓ノ融通ヲ致シテ居リマ
ス、唯問題ハ、是ハ事變以來ノ轉業者ニ對
スル貸付デアリマシテ、廢業者、今回ハ廢
業者モ入ル譯デアリマスルガ、廢業者ニ對
スル施設ト云フモノガ、之ニハ入ッテ居ナイ
ノデアリマスルガ、御注意モアリマスルノ
デ、今後は等政府ノ低利資金ノ供給ニ當リ
マシテ廢業者ヲモ含メルト云フ方向デ今後
研究ヲ致シタイト思ッテ居リマス、尙其ノ他
ニ付キマシテモ、今後更ニ研究ヲ重ネマシ
テ、適當ナル對策ヲ講ジタイト存ズル次第
デアリマス、次ニ、轉廢業者ニ資金ヲ融通
シタ後ニ於テノ施設ト云フモノニ付テモ、
政府ハ十分注意ヲシナケレバイカスト云フ
御意見デゴザイマス、是モ誠ニ御尤デアリ
マシテ、昨日モ申上デマシタヤウニ、金庫
ノ資金融通ノ事務ニ付キマシテハ、大藏省
ガ專ラ當リマスルガ、轉廢業者ノ轉業シ廢
業シタ後ノコトニ付キマシテハ、豫テカラ

其ノ方面ノ仕事ニ練達シテ居リマスル厚生
省ニ、十分ナ考慮ヲ拂ッテ貰フコトニ打合セ
テアル譯デアリマスルガ、今後ニ於キマシ
テモ、更ニ政府部内ニ於キマシテ十分密接
ナ連絡ヲ取りマシテ、御意見ノヤウニ致シ
タイト思ヒマス、尙金庫ノ資金融通ノ際ニ
於キマシテモ、只今御指摘ノヤウナ、非常
ニ成績ノ好イ償還ヲ致スト云フヤウナ場合
ニ、何等カ施設ヲ致スト云フコトモ、貸出
ノ方法ヲ決メマス際ニ於テ、何等カ考慮ガ
出來ルカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付キマ
シテハ、貸出條件等ヲ決定致シマス際ニ於
テ、相當ノ研究ヲ致シテ實行致シテ參リタ
イト存ズル次第デアリマス、要シマスルニ、
只今御三方ノ御意見ハ何レモ御尤ナ御意見
デアリマシテ、政府ト致シマシテモ、十分
是等ノ諸點ニ注意ヲ致シテ、萬遺憾ナカラ
シメタイト存ズル次第デゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 之デ討論ハ終
結致シマシタ、國民貯蓄組合法案外四件ヲ
一括シテ採決致シタイト思ヒマス、是等五
案ハ可決スベキモノトシテ御異存ゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイモ
ノト認メマス、是デ散會致シマス

午後零時七分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵堀田 正恒君
副委員長	男爵松平外與麿君
委員	
侯爵前田	利爲君
子爵梅園	篤彦君
子爵三島	通陽君
子爵由利	正通君

政府委員

大藏次官	廣瀨 豐作君
大藏書記官	坂口 芳久君
同	山際 正道君
國民貯蓄獎勵局次長	栗原 修君
農林省水產局長	平岡 梓君

宇佐美勝夫君
河原田稼吉君
男爵加藤 成之君
男爵西 西乙君
大塚 惟精君
岩元 達一君